



神社にお参りする人たち

市長 コラム

「神社」を 伝えていく

Column No.191

文・笠間市長 山口 伸樹

毎年、正月三が日は、笠間稲荷神社を始め、いくつかの神社へ初詣やご祈禱に参列します。

神社は、森の鎮守様や地域の守り神として長い歴史を刻み続けてきた社であり、本県にも大小合わせて二千四百六十四の神社があります。

一方、社会が変化する中で、その維持管理・存続等が大きな課題となっています。また、神職のなり手も少ないとのこと。さらに、神社に対する世代間の意識の変化もあると思います。

何事もそうですが、守り続けるためには費用と人手、そして想いが必要です。地域の神社を守り続けている関係者の皆さんの取り組みには頭が下がる思いです。

日本の伝統文化・歴史・心のよりどころとしての神社をどう守り続けるのか。全国組織としては神社本庁があり、本県にも県神社庁があります。組織としての取り組みも重要であると思います。今年、初詣をしながら考えさせられました。



乗合タクシー「デマンドタクシーかさま」

※感染症対策をしながら運行しています。

利用時間：月～土曜日の午前8時15分～午後5時まで
ダイヤ：午前8時15分、午前9時～午後4時の1時間毎
乗車料金：基本料金400円、未就学児無料、
小学生・障がい者・介助者200円
利用方法：利用登録→乗車券購入→利用予約→乗車

詳しくはデマンドタクシーかさまHPをご確認ください

デマンドタクシーかさま 予約センター
TEL:0296-70-9000

問 企画政策課(内線559)



デマンドタクシーかさまHP

市内を運行する「デマンドタクシーかさま」は、地域の移動手段として区域運行を開始して、もうすぐ15周年を迎えます。
デマンドタクシーはバスとタクシーの中間に位置し、事前登録された市内にお住まいの方を対象に乗合型で乗車効率を高めながら、ドア・ツー・ドアの移動をサポートします。
市内どこでも、買い物、通院等のさまざまなシーンで利用できます。用途に合わせて、ぜひ活用ください！



乗合タクシー
「デマンドタクシーかさま」
を利用してみませんか。

